



「よりよい人間関係や生活をつくり、 自己のよさを生かす特別活動」

会長 石田 孝士 (世田谷区立芦花小学校長)

この度、東京都小学校特別活動研究会の47代会長を拝命いたしました、世田谷区立芦花小学校校長石田孝士と申します。これまでの歴代会長や会員のみなさんが作り上げてきた都小特活を私とここにいる役員、会員とともに更に発展させていきたいと思っております。昨年度は、都小特活創立60周年の節目を祝うことができました。

今年度は、次の10年の方向性を決める重要な1年です。この新たな第一歩の1年という意識を持ち続けたいと思っています。

今年度は、現在の研究テーマの最終年度であり、検証の結果を出す時であるとともに、次の研究テーマでの研究の0年度でもあります。研究部を中心としてこの使命をしっかりと果たしていきます。

学級活動部、児童会活動部、クラブ活動部、学校行事部の各研究部においては研究を深めることを通して、東京都内小学校に特別活動の意義や指導の手だてなどを普及・啓発するとともに、ともに学ぶ中で会員の仲間を増やしていくことが今後の都小特活にとって重要なことになってきます。組織の拡大を着実にやりたいと考えています。

次に、組織として足腰の強い組織としていきたいと思っています。これから先を見据え役員の充実とともに次を担える人材の育成をしていかななくてはならないと考えています。

みなさんとともにこれからの都小特活を作ってまいりたいと思っております。どうぞ、よろしく願いいたします。

都小特活

第113号

東京都小学校
特別活動研究会

令和5年9月発行

発行人
石田 孝士

☆ 研究発表会

- ・ 期 日 令和6年2月22日(木)
- ・ 場 所 世田谷区立芦花小学校 (京王線芦花公園駅下車 南口より徒歩8分)
- ・ 内 容 今年度の研究についての発表
講 演 文部科学省初等中等教育局 視学官 安部 恭子 先生

令和5年度 研究の基調

研究部長 平松 隆行 (板橋区立若木小学校長)

1 研究主題

よりよい人間関係や生活をつくり、自己のよさを生かす特別活動

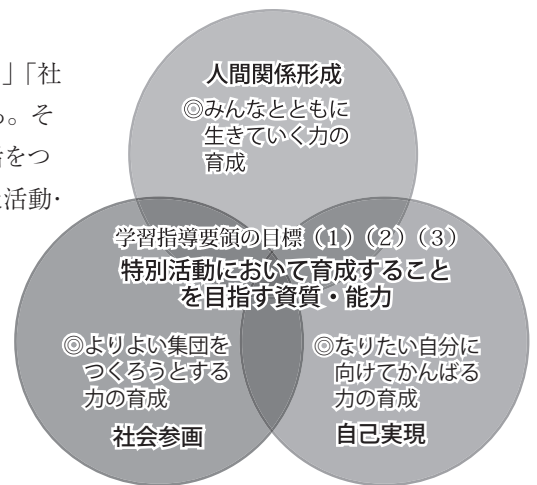
2 主題設定の背景及び理由

特別活動において、育成を目指す資質・能力は、3つの視点「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」を手がかりとしながら育んでいくことが求められている。そこで、本研究会では、令和2年度より研究主題を「よりよい人間関係や生活をつくり、自己のよさを生かす特別活動」とし、3つの視点に関連させながら、学級活動・児童会活動・クラブ活動・学校行事において研究を深めてきた。

令和5年度は、この研究主題の最終年度となる。これまで積み重ねてきた有用な手だてを、より汎用性・再現性のある形で提案を行い、特別活動の魅力東京都の教員に伝え、特別活動の裾野を広げていきたい。

3 研究計画

- ①令和2年度…理論構築
○3つの視点に関連付け、育成する資質・能力について共通理解を図った。
- ②令和3年度…理論・仮説の検証(1年目)
- ③令和4年度…理論・仮説の検証(2年目)
○理論・仮説の検証のための授業実践ならびに汎用性・再現性の追究を行った。
- ④令和5年度…汎用性・再現性のある提案を行う。



学級活動部

部長 高橋 美衣 (中央区立月島第二小学校)

◎ 活動部主題 ◎

「よりよい人間関係や生活をつくり、
自己のよさを生かす学級活動」

1 主題設定の理由

学習指導要領の解説には、「学級生活の充実と向上を目指し、他者と協力したり、個人として努力したりしながら、自主的・実践的に取り組むことにより、活動することの楽しさや成就感・達成感を得たり、自己有用感を高めたりすることにつながるものである。」とある。今回の学習指導要領では、特別活動がこれまで教育課程上果たしてきた役割を踏まえて、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の3つを視点としつつ、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の3点の柱に沿って、資質・能力が整理されている。

本研究会の主題である「よりよい人間関係や生活をつくり、自己のよさを生かす特別活動」を受け、学級活動部では、「自己のよさを生かす」とは、自分の興味のあることや自信のあることが分かること、自分の興味があることや自信のあることを行い、友達や学級に貢献すること、また、

自分の思いや願いを叶えられること、学級の中に自分の居場所や役割があることと捉えた。

学級活動においては、学級という集団の中で、様々な問題を自分たちで見付け、解決方法について話し合い、合意形成を図る。そして、合意形成したことをもとに実践し、解決につなげていく中で、自他のよさや可能性を広げたり、活動することへの達成感や充実感を得たり、自己有用感を感じたりすることができる。

そして、その経験の積み重ねが生涯にわたって、集団や社会の一員として、また社会の形成者として、たくましく生き抜く資質や能力へとつながるよう指導していく。

今年度は、学級活動における多くの手だての中から、①終末の助言の工夫 ②活動の積み重ねの工夫 ③振り返りシートの工夫 ④提案理由の深化の工夫の4つの手だてに絞り、汎化に向けて研究を深めていく。また、来年度に向けて評価規準を見直し、指導の充実や指導と評価の一体化を一層図っていく。

2 研究の視点

視点1 「みんなとともに生きていく力を育てる指導の工夫」(人間関係形成)

視点2 「よりよい集団をつくろうとする力を育てる指導の工夫」(社会参画)

視点3 「なりたい自分に向けてがんばる力を育てる指導の工夫」(自己実現)

児童会活動部

部長 渋井 洋子 (東久留米市立神宝小学校)

◎ 活動部主題 ◎

「よりよい人間関係や生活をつくり、
自己のよさを生かす児童会活動」

1 主題設定の理由

全体研究主題「よりよい人間関係や生活をつくり自己のよさを生かす特別活動」を受け、児童会活動部では「児童会活動における『人間関係形成』『社会参画(自己有用感)』『自己実現』とは何かを考えた。そこで、本部会では以下のように定義した。

人間関係形成

よりよい人間関係を築くために、児童会活動では「上級生は下級生に対して思いやりの気持ちを抱いて協力できる」ような、異年齢集団活動を通して、他の学年との人間関係を豊かに形成する力を付けることが必要であると考えた。このことは、児童の発意・発想を生かした活動に参画していくことで身に付けていくことができる。

社会参画(自己有用感)

「『自分は必要とされている』『自分は役に立っている』と思える感情」と定義し、それは他者に認められてはじめて

得られるものであると考えた。このことは、上述の「人間関係」を豊かにすることと関連が深い。

自己実現

異年齢交流活動の中で、『自分のなりたい姿』を目指して、全校のみんなのために、その活動の目的や意義を達成していくこと」と捉えた。このことは、上述の「社会参画」していく活動を通して、実現していくものと考えた。

本主題を設定して4年目となる今年度は、令和4年度に振り返った児童会活動における「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」を意識して指導し、目指す児童像の達成を目指す。そのため、評価規準を見直し、指導の充実や、指導と評価の一体化を図っていく。また、年度当初のオリエンテーション等を通して、以下のことに留意することとした。

○「児童の発意・発想を生かした活動」の場を保障する。

○「課題の発見」から「振り返り」までの活動を一連の活動(学習過程)としてとらえる。

○児童会の特質である「異年齢の人間関係」に焦点を当てる。

2 研究の視点

視点1 「みんなとともに生きていく力を育てる指導の工夫」(人間関係形成)

視点2 「よりよい集団をつくろうとする力を育てる指導の工夫」(社会参画)

視点3 「なりたい自分に向けてがんばる力を育てる指導の工夫」(自己実現)

クラブ活動部

部長 矢部 聡 (世田谷区立尾山台小学校)

◎ 活動部主題 ◎

「よりよい人間関係や生活をつくり、
自己のよさを生かすクラブ活動」

1 主題設定の理由

クラブ活動の目標は、同好の仲間と共通の興味・関心を追求する中で、異年齢集団活動の楽しさを味わい、自分たちの手で活動をつくり出すための方法の理解、人間関係をよりよく構築していくための相手を意識した思考力、自分の得意なことを生かしたり、多様な仲間の個性を受け入れ協力し合ったりして、よりよい人間関係を築こうとする態度といった資質・能力を育てることである。資質・能力を育てる過程において、児童が自他のよさや頑張りを認め合いながら異年齢の人間関係を育み、自分たちのクラブ活動をよりよくするための課題に気づき、その課題を解決しながら、自分のよさや可能性を将来にわたって追求しようとする態度を育む。これらの一連の活動の中では、自己肯定

感や自己有用感の高まりも期待できる。

これまでの研究では、クラブ活動における「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」を視点に、過去の研究の手だてを整理し、より効果的な指導に向けて検証授業を行ってきた。本主題を設定して4年目となる今年度は、研究のまとめとして、児童の自主的、実践的な取り組みを大切にしながら、これまでの研究で積み重ねてきた、毎時間及び年間の活動がよりよく展開されるよう指導の充実を図り、研究をより一層深めていくと共に、東京都小学校特別活動研究会の役割である一般化を図るための手だてについても広めていけるようにしたい。

2 研究の視点

- 視点1 「みんなとともに生きていく力を育てる指導の工夫 (人間関係形成)」
- 視点2 「よりよい集団をつくろうとする力を育てる指導の工夫 (社会参画)」
- 視点3 「なりたい自分に向けてがんばる力を育てる指導の工夫 (自己実現)」

学校行事部

部長 竹田 桃子 (中野区立鷺宮小学校)

◎ 活動部主題 ◎

「よりよい人間関係や生活をつくり、
自己のよさを生かす学校行事」

1 主題設定の理由

学校行事には、みんなで力を合わせて、集団の力やよさをより高め、自分や集団の成長を実感できる場が多くある。それらを実現する児童の育成を目指すために、まずは児童が今の自分を理解することが大切である。学級や学年、学校という集団の中で今の自分にできることを考え、めあてをもって行事に取り組んでいく中で、自分の役割を果たしたり、よさを見付け合ったりして、新たな自分に気づき、新たな可能性を見出すことができる。一つの行事を通して得られる達成感や充実感によって、さらなる高みを目指したいという自信や希望につなげることができる。

今年度は本研究主題で4年目となり、まとめの年である。これまでの研究で取り組んできた様々な手立てを踏まえて、

誰にでも再現できる実践を見出し、地域・学校・学級の文化に合わせて選択していけるよう、実践授業を通して検証していく。

目指す児童像

- ・自分や友達のよさを認め合える児童 (人間関係形成)
- ・自分の役割の意義に気づき、仲間と共に活動する児童 (社会参画)
- ・自分のよさに気付くだけでなく、自分の可能性を広げ生かそうとする児童 (自己実現)

2 研究の視点

- 視点1 「みんなとともに生きていく力を育てる指導の工夫 (人間関係形成)」
- 視点2 「よりよい集団をつくろうとする力を育てる指導の工夫 (社会参画)」
- 視点3 「なりたい自分に向けてがんばる力を育てる指導の工夫 (自己実現)」

令和5年度 役員・部員名簿

◎校長 ○副校長 ◇主幹教諭 ◆指導教諭 □主任教諭

役職名	氏名	地区・校名	役職名	氏名	地区・校名
会長	石田 孝士	◎世田谷・芦花	研究部 部員	中嶋 規子	◆世田谷・経堂
副会長	出町 桜一郎	◎国分寺・第一	事業部 部長	神谷 なおみ	◎江東・第一大島
〃	田村 亜紀子	◎練馬・大泉南	〃 副部長	森嶋 正行	◎府中・府中第五
〃	吉田 有子	◎清瀬・清瀬第七	〃 〃	猪岡 仁	○世田谷・桜丘
庶務部 部長	酒井 敬子	◎大田・おなづか	〃 部員	原田 恵子	□北・西浮間
〃 副部長	佐藤 美徳	◎日野・滝合	〃 〃	兼古 勇佑	□江東・有明西学園
〃 〃	角田 恒一	○中野・啓明	〃 〃	梶井 綾	□目黒・八雲
会計部 部長	吉田 有子	◎清瀬・清瀬第七	〃 〃	佐藤 麻美	豊島・高松
〃 副部長	田所 貴美子	○中野・みなみの	〃 〃	鈴木 絵里子	国分寺・第二
会計(学級活動)	奥山 優子	□中央・月島第三	編集部 部長	関 拓也	◎品川・延山
会計(児童会)	山野 奈央子	□世田谷・玉川	〃 副部長	星野 哲朗	○小金井・南中
会計(クラブ)	大月 香織	足立・古千谷	〃 部員	藤井 美貴子	□渋谷・上原
会計(学校行事)	湯沢 芽衣	練・上石神井北	〃 〃	伊勢 祐美子	◇世田谷・若林
研究部 部長	平松 隆行	◎板橋・若木	〃 〃	関田 裕子	□世田谷・芦花
〃 副部長	米持 淳一	○小平・上宿	学級活動部長	高橋 美衣	◇中央・月島第二
〃 〃	藤田 寛樹	◇新島・新島	児童会活動部長	渋谷 洋子	◆東久留米・神宝
〃 〃	大藏 久美	◆小平・小平第六	クラブ活動部長	矢部 聡	□世田谷・尾山台
〃 〃	大野 和代	◆足立・千寿第八	学校行事部長	竹田 桃子	□中野・鷺宮
〃 〃	宮内 有加	◆中央・有馬	会計監査	木田 明男	◎小平・小平第三
〃 部員	佐藤 真美	◇小平・小平第十二	〃 〃	岡野 範嗣	◎大田・入新井第五

令和5年度 検証授業の予定

学級活動部

- 10月 5日(木) 江戸川区立下鎌田小学校
学級活動(1)
越川 祐太郎 教諭(2年)
- 11月 21日(火) 西東京市立けやき小学校
学級活動(1)
若月 雅人 主任教諭(3年)

児童会活動部

- 10月 2日(月) 小金井市立東小学校
代表委員会
菊地 佑太 教諭 山村 修 主任教諭
小野塚 結莉 教諭
- 11月 16日(月) 世田谷区立芦花小学校
栽培委員会
山木 大将 教諭 宇都宮 菜々子 主任教諭
長岡 恭平 主任教諭 櫻澤 辰実 教諭

クラブ活動部

- 10月 4日(水) 江戸川区立第四葛西小学校
バレーボールクラブ
中本 健太郎 主幹教諭
- 11月 29日(水) 足立区立古千谷小学校
科学クラブ
大月 香織 教諭

学校行事部

- 10月 16日(月) 世田谷区立祖師谷小学校
学級活動(3) 展覧会事前指導(6年)
小山 雅人 主任教諭
- 12月 5日(火) 北区立浮間小学校
学級活動(3) 音楽会事後指導(3年)
松本 明子 主任教諭

☆今年度も都小特活ではホームページの充実を進めています。研究授業等の予定や急な変更などもお知らせしていますので、是非ご活用ください。

都小特活 検索